

〈講義1〉 相談支援の展開

テキスト／第4章第1節（pp.106-144）

大阪市立大学大学院生活科学研究科

教授 岩間伸之

●ポイント

- ・対人援助における「援助過程」がもつ意味を学ぶ
- ・「帳票類」の位置づけと意義について学ぶ

1. 把握・アウトリーチ

- （1）早期把握・早期発見の重要性
- （2）生活困窮者の実態等の把握
- （3）対象把握・アウトリーチの基本的考え方
- （4）把握・アウトリーチの方法

2. 包括的な相談受付

- （1）相談受付のポイント
- （2）相談内容による適切な振り分け
- （3）相談支援を拒否する場合の対応
- （4）利用申込
- （5）緊急的な支援の提供

3. アセスメント

- （1）基本的な考え方
- （2）アセスメントの方法

4. プランの作成

- （1）基本的な考え方
- （2）プラン策定に必要な手続き
- （3）プラン策定の実際
- （4）プランシートへの記載
- （5）支援調整会議の開催
- （6）自治体による支援決定

5. 支援の実施

- (1) 概観
- (2) 自立相談支援機関による支援
- (3) チームによる支援
- (4) 支援経過の記録

6. モニタリング

- (1) 基本的な考え方
- (2) モニタリングの時期
- (3) モニタリングの方法と場面
- (4) モニタリングの記録
- (5) プランの修正と支援の中断

7. プラン評価・再プラン・終結

- (1) プランの評価
- (2) 支援調整会議における評価と記録
- (3) 再プランの作成
- (4) 終結
- (5) 終結後のフォロー

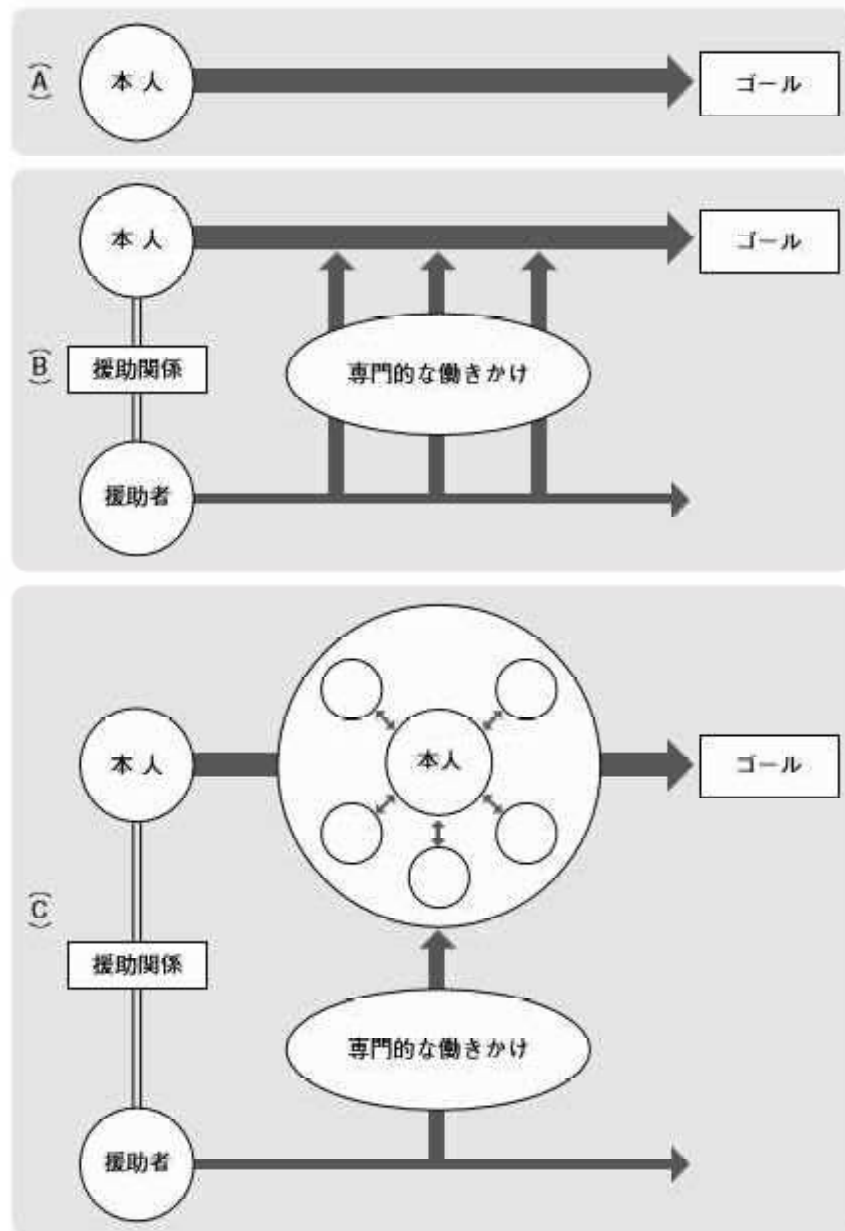


図 本人主体の「援助過程」の概念図

出所：岩間伸之『支援困難事例と向き合うー18事例から学ぶ援助の視点と方法ー』
中央法規出版, 2014年, p. 158。

〈講義2〉個別支援から地域支援への展開

テキスト／第4章第2・3・4節（pp.145-183）

大阪市立大学大学院生活科学研究科

教授 岩間伸之

●ポイント

- ・本人が課題を解決する方法を学ぶ
- ・「一つの事例が地域を変える」という実践を学ぶ

【1】個別的・継続的な相談支援

1. 本人との援助関係の構築
 - （1）信頼関係の構築に向けて
 - （2）援助関係を活かした支援
2. 本人の力を引き出す支援
 - （1）本人の気づきを促す
 - （2）本人の力を活かした支援
 - （3）本人が決めるプロセスを支える
3. 相談面接の意義と目的
 - （1）相談面接の意義
 - （2）相談面接の三つの目的
4. 相談面接の方法
 - （1）相談面接の形態
 - （2）相談面接に必要な環境づくり
5. 相談面接技術
 - （1）コミュニケーションの基本特性
 - （2）相談面接技術 ―21の技法―

【2】環境への働きかけとネットワークを活用した支援

1. 本人を取り巻く環境への働きかけ

- (1) 基本的な視点
- (2) 家族支援

2. ネットワークの活用と連携・協働

- (1) 地域を基盤としたネットワークとの連携・協働
- (2) 「ネットワーク」がもつ特性
- (3) 「ネットワーク」に関する概念整理

【3】個と地域の一体的支援

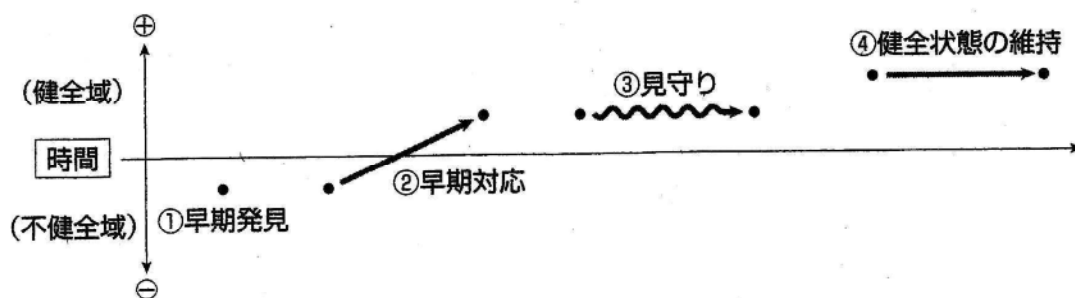
1. 地域を基盤とした相談支援

- (1) 地域を基盤とした相談支援への転換
- (2) 「総合相談」をめぐる動向と背景
- (3) 地域を基盤とした相談支援の理念
- (4) 個と地域の一体的支援
- (5) 個別支援から地域支援、そして地域づくりの推進へ

2. 予防的支援の展開

- (1) 地域を基盤とした相談支援と予防的支援
- (2) 予防的支援のための取組み

図 12-1 予防的支援のための4つのアプローチのイメージ図



出所：岩間伸之「〈unit 12〉予防的支援とインフォーマルサポート」岩間伸之
・原田正樹著『地域福祉援助をつかむ』有斐閣, 2012, p. 126。